

遺伝子組み換え生物は 生物多様性を脅かす

2010年10月に名古屋で、生物多様性の保全や持続可能な利用、生物多様性への影響が懸念される遺伝子組み換え(GM)生物の取り扱いについて話し合う国際会議が開催されます。

その1年前にあたる2009年10月に名古屋で、ドイツから環境保護活動家を招いて、GM生物の問題に焦点をあてた市民集会を開きます。集会では、GMナタネ自生調査報告も行います。いま日本では、食用油の原料や家畜の飼料として大量に輸入されているGMナタネが輸送中にこぼれ落ちて各地で自生し、在来ナタネやカラシナと交雑しています。除草剤の効かないGM作物による環境汚染が広がる懸念もあります。

GM生物に脅かされている生物多様性の現状を知るとともに、それに対し私たち市民に何ができるのかを考えます。多くの方のご参加をお待ちしています。

日時:2009年 **10月24日(土) 13:00~16:30**(12:30開場)

場所:愛知大学 車道キャンパス・コンベンションホール

(最寄り駅:地下鉄桜通線「車道」徒歩2分/名古屋市東区筒井2-10-31)

資料代:500円

クリスティーヌ・フォン・ヴァイツゼッカーさんプロフィール



生物多様性条約やカルタヘナ議定書の策定に携わり、その議論や決定に影響を与えた。現在もこれらの会議にオブザーバー参加し、市民の立場から監視している。ドイツ連邦共和国第6代大統領ヒャルト・フォン・ヴァイツゼッカー氏は義兄。

プログラム

◆基調講演「生物多様性を守るのは市民の力」

講師 クリスティーヌ・フォン・ヴァイツゼッカーさん(ドイツの環境保護活動家、生物学者)

◆GMナタネ自生調査全国報告

◆環境保護団体・消費者団体などの活動報告

*11時30分からロビーで地元の環境保護団体などがパネル展示をしています。ぜひご覧ください。



主催:食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク(MOP5市民ネット)

後援:生物多様性条約市民ネットワーク

【問合せ先】MOP5市民ネット事務局 遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207

TEL:03(5155)4756 FAX:03(5155)4767